



聖徒のための情報誌

今月号の内容

行道院日焯上人第五十遠忌
靈断師会創立六十周年報恩
法要・記念式典(1面・2面)
日蓮大聖人の歩まれた道
よろこびちゃんの質問箱
ほっと絵手紙(3面)
全国のよろこびちゃん
よろこび法話(4面)

平成27年(2015年)6月1日(月)

6月号

発行所
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町3-25-11
九段中央ビル702
日蓮宗靈断師会九段事務所
電話 03-6272-9340
FAX 03-6272-9341

日蓮宗靈断師会

会長 末吉 観道
編集人 松本 恵昌
購読料 1部 100円(税別)
毎月1回1日発行

日蓮宗靈断師会ホームページ
http://www.yorokobi-reidanshikai.jp
よろこび投稿メール
yorokobi@yorokobi-reidanshikai.jp



名古屋市・本成寺本堂で営まれた報恩法要

日蓮宗靈断師会
創立六十周年報恩法要
行道院日焯上人
第五十遠忌法要を厳修



終身名誉会長
芝崎日頭猊下

ご挨拶

日蓮宗靈断師会創立六十周年記念、九識靈断法創祖・日蓮宗聖徒団初代首導行道院日焯上人五十遠忌にあたり、ご参席の各聖には昼夜を問わず法・為宗のご法勞に甚深の敬意を表します。

日蓮大聖人は守護国家論に「法華経は釈迦牟尼佛なり、信ぜざる人の前には釈迦牟尼佛、入滅を取り、此経を信する者の前には滅後たりと雖も佛、在世なり」と説示されています。...

その時、高佐日焯上人は改めて日蓮宗の宗義・宗学を日蓮大聖人の御遺文に直参し、惨憺たる現状の依つて起る諸因を求められたのです。...

日蓮大聖人の説かれた内外相承は、観念ではなく事実です。五時八教の判釈を体信して天台大師、そして寿量品所頭の久遠本佛に面授口決されたものです。...

佛在世の法悦に居住することであることは立正安国論に教説されるとおりです。実践宗教とは、地球社会に御題目の神秘によつて「一切衆生皆成佛道」...

平成二十七年三月二十五日

日蓮宗靈断師会第二代会長

終身名誉会長

別格本山佐野妙頭寺第四十五世

芝崎日頭

日蓮宗聖徒団
第五十回記念
全国結集
身延大会開催



五月二十三日、二十四日、総本山身延山に於いて歴史ある第五十回記念の身延結集大会が開催された。

北は北海道、南は九州から全国の聖徒団が結集し大本堂を聖徒団旗で埋め尽くした。

日蓮大聖人に一年の報恩感謝を捧げ、歌の奉納や節題目奉納、万灯、纏の奉納があり、沢山の火花が身延のお山に打ち上げられ五十回の大いに花を添えた。

※詳しくは七月号で特集致します。



津軽宇田山 間法寺
毎朝 5時半より「朝勤祈禱会」
6月28日(日)「七面天女大祭」
毎月 第2土曜日 午後3時より「唱題修行」
〒030-1403
青森県東津軽郡外ヶ浜町平館元宇田52-2
TEL 0174-25-2712
住 職 工藤 堯幸・副住職 工藤 堯慎

妙正寺聖徒団
宮崎 亮勲
毎月1日午前10時 盛運祈願会
6月21日(日)午前11時より 宗祖日蓮大聖人第734回忌御会式法要。
北海道妙正寺聖徒団
〒071-1423
北海道川上郡東川町東町2丁目6-3
TEL 0166(82)2714 FAX 0166(82)2914

いかされるよろこび
美濃乃國
常唱寺 聖徒団
〒501-3734
岐阜県美濃市千畝町2738-2
TEL/FAX 0575(33)1430

本山 妙頭寺
天目聖人御報恩
平成屋根等大改修
ご寄付募集中!
郵便振替 口座番号 00180-6-267327
口座名義 妙頭寺建設委員会
〒327-0843 栃木県佐野市堀米町264
TEL 0283-22-1524
FAX 0283-22-4194
http://www.sano-myoukenji.jp

日蓮宗靈断師会終身名誉会長
感通寺聖徒団団長
新聞 智雄
〒162-0044
東京都新宿区喜久井町39
TEL 03-3209-8782
FAX 03-3208-7966

霊断師会創立六十周年報恩法要 行道院日焯上人第五十遠忌法要



末吉観道会長を御導師に厳肅に法要が営まれる

三月二十五日、「本会創立六十周年報恩法要・行道院日焯上人第五十遠忌法要」が愛知県名古屋市長本成寺(天野行淳本部長・自坊)を会場に厳修され、全国各地から参集した霊断師が百基を超す卒塔婆が並び御宝前に於いて報恩の誠を捧げた。

導師を務められた末吉観道会長は奉告文で、行道院日焯上人への御報恩、会発足から現在に至るまでの先師の御法勞、そして本会の益々の隆盛、衆生救済への決意を述べられ、参列者と共に、更なる霊断布教への精進を誓った。

報恩法要はこの後、京都本山本法



報恩感謝を捧げる霊断師



日蓮宗加行所正伝師・工藤堯幸僧正による祝辞



吉田亮善終身名誉顧問による乾杯



全国の会長が集い活気ある代表者会議



本山京都本法寺貫首瀬川観照猊下による祝辞



芝崎終身名誉会長の祝辞を読み上げる大塩副会長



天野行淳本部長による御礼の言葉

記念式典

この後、名古屋クラウンホテルに会場を移して開かれた「記念式典」は和やかな雰囲気の中、終身名誉会長・芝崎日顕猊下(二面掲載)、日蓮宗加行所正伝師・工藤堯幸僧正より、「日蓮大聖人の御遺命に込め、本会が益々充実発展され、霊断師各聖が覚悟を持って正法布教に邁進されますように」とのお祝いと激励のお言葉を戴き、盛大裡に閉会した。

第二回代表者会議(第五十四回理事会)

三月二十六日、二十七日の両日、全国各管区霊断師会会長(理事)が出席して「第二回代表者会議」(第五十四回理事会)が名古屋クラウンホテルを会場に開催された。会議は、昨年度の事業と決算報告、今年度の事業計画等の重要議案が審議される中、出席の各会長から活発な意見が交わされる異体同心、総和の相(すがた)となった。閉会にあたり末吉会長は、「本会の発展の為、檀信徒・未信徒の教化育成の為に力を合わせて参りましょう」と、本会創立六十周年を節目に正法弘通の為の本会の決意を示された。

大分県由布市蓮正寺聖徒団 第二回清道衆講習会開催 仏の教えとは



やさしく分かりやすい天野講師の講義

立教開宗二日前の四月二十六日、うらかな春の日差しの中、二年前に庫裡新築をなした大分県由布市・蓮正寺聖徒団(飯盛義教団長)に於いて、本部長天野行淳講師(霊断師会本部長)が出講して初めての清道衆講習会が開催された。天野講師は、「色々な宗教があるが、真の幸福を得るには仏教の中の法華経しかない。本来、私達は仏である。だから仏の振る舞いを行って下さい」と力強く話され、その懇切丁寧な講義に参加聖徒は一心に聴き入った。参加者のお一人は、「大分市内でも仏教についての講演があり参加するが、こういう講義は他では聴けない、すごく良かったです。」と語ってくれた。

聖徒の声(感想文)



二宮 昌昭さん

このたび、名古屋市長本成寺様から天野行淳先生に遠路お越しいただき、清道衆講習会を受講しました。これまで宗教について学校等で学ぶこともなく、お寺や神社でお参りすることが宗教的な行いと思っていきましたが、この講習会で、キリスト教やイスラム教等、世界の宗教と仏教の根本的な違い、仏教の生い立ち、日蓮大聖人の誕生と教えについて学ぶことが出来、宗教とは「日常生活の中で一生懸命に精進したり働いたりして、生きている人生そのもので



二宮 敬一さん

ある」と教わり、考え方が変わりました。仏教では「仏と人は同体であり、人は元々寿命御本仏の身を分けた仏である」と教えられ、皆が仏になる身であれば誰に接するときも仏と思ひ、自分は仏となるに値する行いをしなくてはならない、と思うようになりました。

全国の聖徒さん紹介

富山県本行寺聖徒団



守り月さん 関野隆(せ)さん
月野隆(せ)さん
生野隆(せ)さん
俱生野隆(せ)さん
毎月お寺に足しげく参拝される

篤信の檀信徒です。本行寺は、現在第三十一世住職の代で、開山以来丁度四八〇年目のお寺です。境内にはケヤキ、杉等の大木が立ち並び、とりわけ毎年沢山の葉を落とす大銀杏があります。住職未就任時に実はならず、現任職就任以来再び銀杏がなるようになって不思議な木です。年々その実を増やしています。それらの世話をコツコツとなさっています。本行寺では毎月三日十五時から盛運祈願会を行い俱生神月守の交換をしています。その一時間前の二時から信



大きな団扇太鼓を叩き信行に励む関野さん

行会を行って太鼓、読経、声明の練習をしています。関野さんは毎月の信行会・盛運祈願会に必ず参加され、またお寺の行事では参拝される檀信徒さん達の先に立ち、一番大きなうちわ太鼓を手にとって皆を引率しています。自宅お仏壇でのお勤めも欠かさず、ご近所さんがその木柩の音に安堵を感じているとの噂です。関野隆さんは本行寺の寺宝です。

富山県本行寺聖徒団 櫻栄 優一団長

つながる通信員!

教誌よろこびを共に作成している全国の通信員を毎月ご紹介していきます。



No.3
島根県通信員
法恩寺聖徒団
橘 亮光

三年程前より島根県の通信員となり、県内の記事を中心に書かせていただいています。今年三十歳となり、妻と二歳の長男の子育てに奮闘している毎日です。お寺のことはまだ副住職という立場ではありませんが、自覚を持って精進しております。趣味は野球、サッカー等。趣味のことを織り交ぜたブログを書いていることもあり、記事の向上に励んで参ります!

第四十六回 日蓮大聖人の歩まれた道

比叡山での修学(その八)

靈断院教学部長
小泉 輝泰

「伝教大師宗々の人師の異執をすて、専ら經文を前として責させ給しかば、六宗の高徳八人、十二人、十四人、三百余人、並びに弘法大師等せめをとされて、日本国一人もなく天台宗に帰伏し、南都、東寺、日本一州の山寺みな叡山の末寺となりぬ」
(開目抄)

これまで比叡山の惨憺たる状況をお話致しましたが、もちろん叡山修学の十二年間は、蓮長にとつてまったく無益であつたわけではありません。むしろ後の日蓮大聖人としての大切な礎を築かれたのが、この比叡山での日々であつたといつても過言ではないでしょう。

まずは以前お話を致しました、俊範法印よりの天台教義の伝授です。俊範の学風は、天台直伝の正統な法華経教義を重んじ、新興である禅や念佛への批判はもちろんのこと、慈覚大師以来山内で重んじられていた真言密教に対しても、大変批判的であつたとされます。また天台教義においても、自身の系統である恵心流の本覚法門のみならず、檀那流の流儀にも精通していたと思われるところが、蓮長の思想形成にとつて大変重要な糧となつていくのです。



比叡山の学風による経験でした。比叡山中興の祖と仰がれる慈恵大師良源(元三大師)の住房であつた定心房にて、春夏秋冬の四季に行われる法華経論議を軌範として、様々な法門の実習が盛んに催されていきました。それが、南都六宗を論破して日本国中を法華経に帰依せしめた、伝教大師より脈々と受け継がれる比叡山の気風であつたのです。

論議には学問に秀でた者が参加を許され、学匠より与えられる論議をめぐって、激しい法論のやり取りがなされました。定心房の別名「四季講堂」の名の通り、初めは四季毎の法華経論議でしたが、やがては先師講や様々な法会と共に催され、最盛期では全山で月に百回以上の論議が行われていたと言われています。

秀才の輩出で有名な横川に住すること許された蓮長ですので、当然のことながらこの論議にも盛んに参加していたことでしょう。後に大聖人は「いづれの人師と相対しても、決してその義を破られることはありませんでした。また弟子や檀越に宛てたお手紙の中には、他宗に攻め入られた時の返答の仕方を、実に見事に教授されているものも見受けられます。

大聖人の法華経、天台教義を基とした学識の高さはもちろんですが、激しく論を戦わせながら、決して引けを取ることなく論破していくその巧みな技法は、おそらくこの比叡山で交わした幾多もの論議によつて、蓮長の身に培われていったのです。

ほっと絵手紙



静岡県伊豆の国市の井関湛江さんからの絵手紙です。ありがとうございます。

全国の聖徒の皆さんのHot心温まるホッとするような「ほっと絵手紙」を募集いたします。皆さんの絵手紙を九段事務所までお送り下さい。よろこびに掲載致します。どしどし絵手紙お待ちしております。

宛先
〒100-0051
東京都千代田区神田神保町三二五-二
九段中央ビル七〇二
日蓮宗靈断院九段事務所

よろこびちゃんの質問箱



どうして仏壇やお墓にお花を飾るの？

それはね、お釈迦さまが仏さまになる前、前世で修行していた時のこと。『燃灯仏』という仏さまに会うことができたので、何かご供養したいと思いましたが、何もご供養するものがないので、近づくに花売りの女性から五茎の青蓮華というお花を買って「ご供養した」というお話がお経の中に書かれているのよ。

ところで、聖徒の皆さんは、仏壇やお墓にお花をお供える時に、正面をどこへ向けているかしら？
仏さま？それとも自分？
花をお供えるのは、「仏さまに美しいものをお供えし、仏さまをお飾りする」という意味もあるけど、それだけではなく「お供える人の心を穏やかにし、仏道に励む心を養い、智慧を育てる働きがある」といわれるのよ。花の供養をする私たちの心も清める働きがあるから、私たちへ向けて入れるのが普通になったんですよ。



『生花は福をもたらす、枯花は死を示す』といわれるから、仏さま、ご先祖さまに、仏壇やお墓に花をお供える時は、花が枯れないように心がけて、美しく新しい生気あるものをお供えしましょう。

きつとあなたの心も元気にしてくれるわ！
さて、お花を持ってお墓参りに行くこおつと！

身延山下町マップ 身延山をみんなで散策しましょう！



よろこび法話

逆境の乗り越え方

あなたは、既にその方法を知っているはず。



日蓮宗霊断師会代表者会議議長
埼玉県川口市
實相寺聖徒団 団長
松永 慈弘

あなたも、今までの人生の中で「逆境」に見舞われたことがあったかと思えます。逆境を乗り越えられない方もいますし、逆境を乗り越え幸せな晩年を迎える方もいます。それは、どうすれば、そのような幸せな晩年をむかえることができるのでしょうか。

安岡正篤という歴代総理大臣の指南役を務めた方がおられます。この方は終戦の際の「平成」の元号の考案者でもおられます。この方がこのようなことを述べておられます。

「東西の聖賢たちの書物を渉猟(しやうりよう)すると、結局詰まるところは、『喜神を含む』ことにあるように思えます。『喜神を含む』とは、礼拝の対象である神様という意味ではなく精神の神、つまり心の最も深い部分を指す言葉だそうなんです。そして続きます。『喜神を含むとは、どういふ立場に立たされようと、それに心を乱されることなく、心の奥深い部分にいつも喜びの気持ちを抱いてことに当たれば、どんな運動でも開けないものはなく、上昇気流に乗ったように開けていくという意味です。これこそは人生の極意である』と述べておられます。

岸信介総理大臣は六十年安保改定の時、反対派が国会議事堂に何十万人と押し寄せ、もう革命前夜と思われた騒然とした時代の中にあつて、この「喜神を含む」という思いを胸に置き、日本を上昇気流に乗せるため六十年安保改定を成し遂げ、その後の高度経済成長への道を開いたのです。

また、京セラという会社を一代で興し、世界的な企業に育て上げ、現在のKDDIを創業し、つい最近では、破綻間違ったといわれた日本航空の再建を成功させた稲盛和夫氏も、仏教の造詣が深く、この「喜神を含む」を胸に置き様々な逆境を乗り越えてきました。



「喜神を含む」と申しますと、何やら難しく思えてしまいかもかもしれませんが、要は「逆境を受け入れ、そして、切り替え、前向きに進んでいくこと」だと思つていただければよいと思えます。

逆境に見舞われて、何かを失つた時には大体二つのうちのどちらかの道を進みます。一つは、その逆境を恨み、以降の人生を「あの逆境さえなければ」と言いながら後悔し、悔恨の中に人生を送る人。もう一つは、失つたものは仕方ないと思ひ、「受け入れ」早い段階で「切り替えること」を行い、過去は振り返らず、岸首相や稲盛氏のように「前向きに進んで行く」人です。

何故、逆境が起こるのでしようか。それは、他人のせいではありません。あなたがいけないのです。日蓮大聖人は、『開目鈔』の中で次のようにお示しになっておられます。

「心地観経に云く、過去の因を知らんと欲せば、その現在の果を見よ。未来の果を知らんと欲せば、その現在の因を見よ。」

つまり、現在の結果はあなたが過去に積んだことの結果です。よ、ということなんです。現在が幸せであれば、それは過去において善因を積んだからであり、逆境が訪れたのは、悪因を積んだからなのです。その逆境を招きよせたのは、あなたの責任なのです。だから受け入れればよいのです。そして、未来の幸福のために、善因を積むべく前向きに進んで行くことを、日蓮大聖人は、我々に勧めておられるのです。でも人は不安になりませんか。しかし、大丈夫です。お釈迦様は、『妙法蓮華経譬喻品第三』の中で、

「其中衆生 悉是吾子 而今此処 多諸患難 唯我一人 能為救護」と示されておられます。「大変な世の中かもしれないが、あなたは私の大切な大切な子供なのです。だから私があなたを守り救つてあげますよ」とお釈迦様は、あなたのことをつかり救護するとお約束下さつておられるのです。全く不安に思うことはありません。

さらに、日蓮大聖人は、『三大秘法稟承事』の中で、

「能居の教主は本有無作の三身なり。所化以て同体なり。」とお示しになり、久遠寿命御本仏様とあなたとは、実は同体、つまり、既に救われている対象なのです。よ、とお約束いただいております。

また、日蓮大聖人は、『祈祷経送状』の中で、こうも述べられておられます。

「信心に退転無く、身に詐親無く、一切法華経に其身を任せて金言のごとく修行せば、たしかに後生は申すに及ばず、今生も息災延命にして勝妙の大果報を得」修行することにより、大果報が得られるのです。

ではどのように、修行すればいいのでしょうか。『一生成佛鈔』に、

「深く信心を発して、日夜朝暮に又おこたらず磨くべし。何様にしてか磨くべき。只南無妙法蓮華経と唱へたてまつるを、是をみがくと云なり。」とお示しです。つまり信心堅固にして、ただただお題目をお唱えすることなのです。そうすれば、大いなる救いが訪れるのです。しかし、それでも、人間は不安に襲われるものです。でも、大丈夫です。あなたには、霊断師のお上人がいらつしやいます。どのようなことでもご相談下さい。九識霊断法によって、不安を拭い去り、幸せへと導いて下さることでしょう。

きに進んで行くことを、日蓮大聖人は、我々に勧めておられるのです。でも人は不安になりませんか。しかし、大丈夫です。お釈迦様は、『妙法蓮華経譬喻品第三』の中で、

「其中衆生 悉是吾子 而今此処 多諸患難 唯我一人 能為救護」と示されておられます。「大変な世の中かもしれないが、あなたは私の大切な大切な子供なのです。だから私があなたを守り救つてあげますよ」とお釈迦様は、あなたのことをつかり救護するとお約束下さつておられるのです。全く不安に思うことはありません。

さらに、日蓮大聖人は、『三大秘法稟承事』の中で、

「能居の教主は本有無作の三身なり。所化以て同体なり。」とお示しになり、久遠寿命御本仏様とあなたとは、実は同体、つまり、既に救われている対象なのです。よ、とお約束いただいております。

また、日蓮大聖人は、『祈祷経送状』の中で、こうも述べられておられます。

「信心に退転無く、身に詐親無く、一切法華経に其身を任せて金言のごとく修行せば、たしかに後生は申すに及ばず、今生も息災延命にして勝妙の大果報を得」修行することにより、大果報が得られるのです。

ではどのように、修行すればいいのでしょうか。『一生成佛鈔』に、

「深く信心を発して、日夜朝暮に又おこたらず磨くべし。何様にしてか磨くべき。只南無妙法蓮華経と唱へたてまつるを、是をみがくと云なり。」とお示しです。つまり信心堅固にして、ただただお題目をお唱えすることなのです。そうすれば、大いなる救いが訪れるのです。しかし、それでも、人間は不安に襲われるものです。でも、大丈夫です。あなたには、霊断師のお上人がいらつしやいます。どのようなことでもご相談下さい。九識霊断法によって、不安を拭い去り、幸せへと導いて下さることでしょう。



本誌イラスト 小川けんいち

全国のよろこびちゃん vol. 13



お寺に来る皆さんに見守ってもらって、毎日すくすく元気に育ってます！

全国のよろこびちゃんを募集しています！

愛知県名古屋市長
本覚寺聖徒団

伊藤 華ちゃん
平成 27 年 2 月 15 日 生まれ



家族みんなを着帯しましょう



俱生神月守は、宗旨(家の宗教)に關係なく持つことができるお守で「ぐしよじんつきまもり」と読みます。

このお守は俱生神さま(同生天と同名天というお二人の神さま)が「あなたを護ります」という契りの符(あかし)です。

●同生天：あなたの生命(健康)を守って下さる神さま。

●同名天：あなたの生活(経済)を守って下さる神さま。

●家族みんなを着帯しましょう：家庭円満に安心して過ごせます。

●知人の悩みにも：分かち合うことの喜びを味わえます。

●引越しましや旅行の時に：方位除け・盗難除けとして。

●霊断を受けたら：まず着帯して下さい。良い結果が訪れます。

※お寺の鬼子母神様、お稲荷様等のお札・お守と一緒に持たれても結構です。

〈大切なこと〉
○お題目を信じ、唱えて下さい。
○いつも肌身離さず月守を着帯して下さい。
○毎月、月初めに新しい月守と必ず交換して下さい。

砥森山
法華寺

生きて救われの道場

住職 阿部 是秀
副住職 阿部 是眞

〒028-0304
岩手県遠野市宮守町下宮守31-69-1
電話 0198-67-3166
FAX 0198-67-2227

安房乃國隨一
三十番神祈願道場

顕本寺聖徒団
団長 小泉 輝泰

「1人で悩まず、まずは相談」
〒295-0002
千葉県南房総市千倉町川合690-1
TEL 0470-44-1062
FAX 0470-44-1524

信用第一の専門店

◇格調高い関東風仏具◇

宗務院指定

仏壇・仏具 仏像彫刻
内陣莊嚴具 設計製作

(株)中野三佛屋

東京都台東区寿2丁目7の12
電話 03 (3843) 6951
FAX 03 (3843) 6973
定休日 日曜日

利生寺

日蓮宗霊断師会会長
利生寺聖徒団団長
末吉 観道
副団長
末吉 正道

〒930-0055 富山県富山市梅沢町3-16-10
TEL 076-421-8776 FAX 076-421-8250

正蓮寺

日蓮宗霊断師会 副会長
日蓮宗宗会議員
正蓮寺聖徒団 団長
大塩 孝信

〒290-0151 千葉県市原市瀬又134-1
TEL 0436-52-0207
FAX 0436-52-2288